

熊本市スタートアップ支援ファンド無限責任組合員の公募について
質問に対する回答書

No.	質問	回答
1	募集要項「1 本事業の目的」に関して質問です。ファンド規模は10億円程度とお考えですか。	本事業のファンド規模につきましては、お見込みの通り、概ね10億円程度を目安として想定しております。ただし、最終的なファンド規模は、採択後の組合組成過程において、出資者(LP)との調整状況等を踏まえ、確定する予定です。
2	募集要項「1 本事業の目的」に関して質問です。「本市は、県内外の金融機関や地場企業等と連携し、課題解決型の『熊本市スタートアップ支援ファンド』を新たに組成する」とありますが、市は組合組成についてどの程度協力・関与されるのでしょうか。また、市が行うスタートアップ支援策とどのような連携をお考えですか。	本市はファンドへの出資者(LP)として参画する想定はございませんが、LP募集に際して協力を行う予定です。 また、本市では、スタートアップの各成長ステージに応じた支援プログラムを実施しておりますので、投資先企業が本事業を活用することで、成長を支援したいと考えております。 なお、本市の主な支援プログラムは以下のとおりです。 ・Kumamoto City Pitch(ピッチイベント) ・HIGO CANVAS(起業家発掘・育成プログラム) ・HIGO LINK(オープンイノベーションプログラム)
3	募集要項「1 本事業の目的」に関して質問です。投資対象候補について「地域課題を解決するスタートアップ等」と記載されていますが、たとえば熊本市内に本社・支社を置くことなど、投資対象候補の要件はありますか。	投資対象は、熊本市の地域課題の解決に資する事業を展開するスタートアップであれば、所在地を問わず全国の企業を対象としています。 ただし、熊本市内に本社や拠点を置くスタートアップについては、地域経済への波及効果やエコシステム形成の観点から、積極的な投資を期待しています。
4	募集要項「5 提案書への記載事項」に関して質問です。「(1)②組合組成の確実性」のうち、「LP候補(LP候補者及び金額・調整状況)、ファンド規模」について、提案書では、LP候補者及び金額・調整状況をどの程度の確実性・具体性をもって記載すべきでしょうか。	提案書においては、現時点でのLP候補者との協議・打診状況について、可能な範囲で具体的にご記載ください。 具体的には、LP候補者の名称、想定出資額、調整段階(例:初期打診済、出資内諾済等)などを記載いただくことで、組合組成の確実性を判断する参考とさせていただきます。 なお、採択後は本市と連携しながら組合組成を進めていただくことを想定しており、最終的な出資確定はその過程での調整を前提としています。 このため、現時点で出資確定に至っていない場合でも、具体的な打診・協議の進捗が確認できる内容であれば、評価の対象となります。